

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名		所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価内容
港湾施設						
客船ターミナル施設等	有明客船ターミナル	江東区有明三丁目	東京港埠頭株式会社	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	B	・自主事業として実施した東京港見学会では、ターミナル施設を活用した清掃船・給水船のデモンストレーションや舟運のPRを行い、施設の認知度向上や水辺の魅力発信に貢献した。 ・施設の老朽化が進む中、人工木材を活用したウッドデッキの計画的更新に加え、外壁タイルの一部が落下する恐れがあったため、施設の必要な調査および補修を行うなど、適切な施設管理を実施した。
	有明小型船発着所浮桟橋	江東区有明三丁目地先				
竹芝客船ターミナル施設等	竹芝客船ターミナル	港区海岸一丁目	東京港埠頭・テレポートセンターグループ	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	B	・「竹芝夏ふえす」や「リアル宝探し」など、地域事業者と連携したイベントを積極的に実施し、企画内容の充実を図ることで多くの来場者を呼び込み、施設の利用促進や竹芝エリアの賑わい創出に取り組んだ。 ・施設の老朽化に伴い様々な不具合が生じる中、事務室内空調設備や電気受変電設備部品等、多岐にわたる設備更新工事を実施し、利用者に安全かつ快適な空間を常に提供した。
	竹芝小型船発着所浮桟橋	港区海岸一丁目地先				
船舶給水施設	竹芝ふ頭船舶給水施設	港区海岸一丁目	東京港埠頭株式会社	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	B	・専門業者と連携してホース離脱防止リングを製作・導入するほか、給水作業者の熱中症対策として熱中症指数表や冷却ベストを導入し、給水作業の更なる安全性確保に努めた。 ・東京港見学会や東京みなと祭り等において、運搬給水船による放水デモンストレーションやパネルの展示を行うなど、事業のPRに積極的に取り組んだ。
	日の出ふ頭船舶給水施設	港区海岸二丁目				
	芝浦ふ頭船舶給水施設	港区海岸三丁目				
	晴海ふ頭船舶給水施設	中央区晴海二・五丁目				
	月島ふ頭船舶給水施設	中央区豊海町				
	辰巳ふ頭船舶給水施設	江東区辰巳三丁目				
	東京国際クルーズふ頭船舶給水施設	江東区青海二丁目地先				
	運搬給水施設	運搬給水船「すいれん」				

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名		所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価の内容
港湾施設						
公共外貿コンテナふ頭施設等（5施設）	品川ふ頭外貿岸壁	品川区東品川五丁目	東京港埠頭株式会社	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）	B	・青海ふ頭における岸壁梯子や品川ふ頭におけるコーナ材等、劣化損傷した設備の更新にあたり、耐久性の高い素材を採用し安全性の確保に取り組んだ。 ・一定規模を超えた船舶の係留許可に当たっては、東京海上保安部へ提出済みの運用マニュアルに基づき、潮汐利用により係留能力を上回る大型船を着岸させるなど、管理する全てのふ頭において適切に対応している。
	品川ふ頭外貿棧橋	品川区東品川五丁目地先				
	青海ふ頭岸壁	江東区青海三丁目				
	青海ふ頭棧橋	江東区青海三丁目地先				
	中央防波堤外側ふ頭棧橋（Y1）	大田区令和島1丁目1番地先				
東京国際クルーズふ頭等	東京国際クルーズふ頭棧橋	江東区青海二丁目地先	東京国際クルーズターミナルグループ	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）	A	・東京国際クルーズターミナルについては、乗客定員3,000人以上の大型客船の寄港回数が前年度の12回から25回に増加するとともに、晴海客船ターミナルが新たに供用開始されるなど、施設を取り巻く環境が大きく変化する中においても、関係者との連携・調整を着実に行之い、円滑な受入体制及び安定した施設運営を確保した。特に、大型客船の受入れにおいては、船舶特性に応じた効率的な乗下船オペレーションや柔軟な車両誘導を実施し、受入体制の向上につなげたほか、その取組が上海で開催されたクルーズサミットにおいて表彰された。また、晴海客船ターミナルの供用開始にあたっては、関係者との事前調整や運営方法の工夫により、円滑な受入体制を構築した。 ・ボーディングブリッジをはじめとする重要設備のきめ細かな日常点検や迅速な補修対応に加え、接岸速度計測システムの導入、タクシールールレイアウトの改善、高潮対策設備や夜間照明の整備など、安全性向上に向けた取組を実施した。また、寄港状況に応じた清掃体制の強化に取り組む、利用者アンケートにおいても高い評価を得た。 ・利用者サービスの面では、外国の乗船客向け臨時売店の実施回数を前年度比で2倍の22回に拡充したほか、荷物配送サービスの充実に取り組む、施設の魅力と利便性の向上を図り、乗船客から良好な評価を得た。
	東京国際クルーズターミナル	江東区青海二丁目地先外				
	東京国際クルーズふ頭小型船発着所浮棧橋	江東区青海二丁目地先				
	晴海ふ頭棧橋	中央区晴海五丁目4番地先				
	晴海客船ターミナル	中央区晴海五丁目7番1号				

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価内容
海上公園					
東京都立 若洲海浜公園	江東区若洲 三丁目	若洲シーサイド パークグループ	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日 (3年間)	A	・ゴルフ場では、特殊カメラ搭載ドローンにより芝の健康状態を把握し、適切な施肥・薬剤散布を行うとともに、GPS搭載無人芝刈機の導入・同時稼働により、年間を通じて均一で高品質なコース環境を維持した。セルフプレー枠の拡大や先進機器の活用によるメンテナンス時間の短縮により早朝プレー枠を新設するなど、利用環境の充実を図った。 ・海釣り施設では、釣り関係団体の協力を得て、海釣り施設の活性化と釣りの普及・啓発を目的に釣り教室を引き続き開催した。また、公園全体を活用したイベント「SEA-FRONT MUSEUM」では、新たに4つのワークショップを追加し、小さい子供も楽しめる内容とするなど、イベントの拡充を図った。 ・デフリンピック競技大会の開催に伴い、関係機関等と入念な調整を重ねて、円滑な大会実施に寄与した。ハイレベルなコースコンディションの維持に加えて、障害者ゴルフ大会等の運営で得たノウハウを活用し、スタッフを適切に配置したことで、選手が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を提供した。
東京都立 東京港野鳥公園	大田区東海 三・六丁目	東京港野鳥 公園グループ	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日 (3年間)	A	・世界アルバトロスデー及びシーバードウィークの取組として、絶滅の危機に瀕しているアホウドリをはじめとする海鳥類に関する講演会や展示を実施し、約700人の来園を促した。講演会を現地とオンラインで開催することで多くの参加を得て、保全活動の重要性の普及に繋がった。 ・年間10回の固定メンバー行事として、剪定、草刈など自然生態園の維持管理を学ぶ「里山の仕事を学ぼう」を開催した。引き続き活動を行いたいとボランティア団体に入会する人もおり、公園の愛好者の獲得に寄与した。 ・SNSで話題の野鳥をモチーフにしたアイシングクッキーの作品展を開催した。園内で見られる野鳥をテーマに展示を行い、精巧に作られた作品や館内でのゲーム企画も好評を博した。SNS経由の来場者が多く、企画展を目当てに初めて野鳥公園を訪れた方が多く見られた。
東京都立 葛西海浜公園	江戸川区臨 海町六丁目、 六丁目地先	葛西海浜公園 パートナーズ	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日 (5年間)	S	・日本鳥学会にて「クロツラヘラサギの行動調査で見えた小型ドローンの有効性と留意点」について口頭発表を実施した。希少鳥類クロツラヘラサギに対してドローンを用いた調査事例は世界的にも報告例がなく、全国の鳥類研究者に対して葛西海浜公園の取組を広く発信する機会となった。 ・パークレンジャーの仕事体験できるプログラムとして、新たに中学生以上の学生向けの「小さいユースレンジャー」を実施した。子どもたちが主体的に生き物に関わる機会を創出するとともに、干潟の役割や重要性の理解に繋がった。 ・園地管理について、パークコーディネーターを中心に多様な主体と連携した清掃活動を実施した。ゴミ袋やトングの貸し出しを通年化することでセルフ式クリーンアップへの参加が増加し、園内環境の美化に努めた。

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名		所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価内容
海上公園						
臨海副都心地区公園グループ（4園）	東京都立お台場海浜公園	港区台場一丁目	東京臨海副都心グループ	平成28年4月1日～令和8年3月31日（10年間）	S	・お台場海浜公園では、「レインボー花火」や「STAR ISLAND」、「海の灯まつり」などの大規模イベントの開催に際して、イベント業者や関係機関等と綿密に調整し、新規来園者の大幅増加に繋がった。 ・シンボルプロムナード公園では、石と光の広場からセントラル広場にかけて、約2km・15箇所にあぶる光の回遊ルートを創出するイルミネーションイベント「LIGHT WALK ODAIBA」の開催に向けた調整を行った。実行委員会とともに、進出事業者と連携し、臨海副都心の魅力を一体的に発信することで、新たな賑わいの創出に寄与した。 ・有明親水海浜公園では、公園内に日陰やベンチが少ないという利用者からの声を踏まえ、熱中症対策としてポップアップテントを無料で貸し出した。年間600件以上の利用があり、利用者から好評を得た。
	東京都立有明西ふ頭公園	江東区有明三丁目			B	
	東京都立水の広場公園	江東区青海一・二丁目 江東区有明三丁目			B	
	東京都立青海北ふ頭公園	江東区青海二丁目			B	
	東京都立青海中央ふ頭公園	江東区青海四丁目			B	
	東京都立青海南ふ頭公園	江東区青海二丁目			B	
	東京都立暁ふ頭公園	江東区青海三・四丁目			B	
	東京都立シンボルプロムナード公園	港区台場一・二丁目 江東区青海一・二丁目 江東区有明二・三丁目			S	
	東京都立東八潮緑道公園	品川区東八潮			B	
	東京都立青海緑道公園	江東区青海四丁目			B	
	東京都立有明北緑道公園	江東区有明一・二丁目			B	
	東京都立有明親水海浜公園	江東区有明一丁目 江東区東雲一丁目		令和4年8月1日～令和8年3月31日（3年8か月間）	A	
東部地区公園グループ（8公園）	東京都立辰巳の森海浜公園	江東区辰巳二丁目	東部地区公園グループ	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）	A	・辰巳の森海浜公園では、近隣施設と連携し、スポーツの日に「辰巳健康スポーツフェスティバル」（2,554人）を同時開催した。辰巳地区一体で様々なスポーツ体験ができる場を提供し、地区のスポーツ振興と賑わい創出に繋がった。 ・晴海ふ頭公園では、地域自治会と連携し、「盆踊り大会」（15,000人）と「ハロウィンフェスタ」（2,500人）を開催した。盆踊り大会については、自治会を中心に地域企業・団体やスポーツチームの参画を促し、催しを盛況に開催することで、新規来園者の獲得につなげた。 ・クビアカツヤカミキリ被害による危険木のサクラ伐採にあたり講習会を開催した。樹木医や薬剤メーカーの協力のもと、被害の実態や全国の状況を説明し、実際の被害木を現地で確認することで、地域住民がサクラの現状を学ぶ機会を創出した。
	東京都立晴海ふ頭公園	中央区晴海五丁目			A	
	東京都立春海橋公園	中央区晴海二丁目 江東区豊洲二丁目			B	
	東京都立辰巳の森緑道公園	江東区辰巳一・二丁目			A	
	東京都立夢の島緑道公園	江東区夢の島一・二・三丁目			B	
	東京都立新木場公園	江東区新木場二丁目			B	
	東京都立新木場緑道公園	江東区新木場四丁目			B	
	東京都立晴海緑道公園	中央区晴海四・五丁目			B	

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名		所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価内容
海上公園						
南部地区公園グループ（15公園）	東京都立大井ふ頭中央海浜公園	品川区八潮四丁目 大田区東海一丁目	アメニス海上南部地区グループ	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）	A	・大井ふ頭中央海浜公園及び城南島海浜公園において、過去3年間の樹木管理に関する苦情・要望及び対応履歴を地図上に可視化した「要望発生マップ」を作成した。要望が頻出するエリアを事前に想定・対応したことで、要望件数がほぼ半減するなど、効果的な樹木管理を実施した。 ・大井ふ頭中央海浜公園では、新たになぎさの森駐車場を整備し、公園を利用しやすい環境を整備した。 ・京浜運河緑道公園にて、地域ボランティア団体及び八潮自治会と連携し、「やしおプレイパーク」を初開催した。防犯・安全面にも配慮した環境整備を実施するとともに、PTAへの一斉メール配信、自治会長会議での周知など、地域に密着した広報を行い、想定を上回る集客を実現した。
	東京都立城南島海浜公園	大田区城南島四・五丁目			B	
	東京都立品川北ふ頭公園	港区港南五丁目			B	
	東京都立コンテナふ頭公園	品川区八潮二丁目			B	
	東京都立みなとが丘ふ頭公園	品川区八潮三丁目			B	
	東京都立東海ふ頭公園	大田区東海二丁目			B	
	東京都立京浜島ふ頭公園	大田区京浜島二丁目			B	
	東京都立城南島ふ頭公園	大田区城南島二丁目			B	
	東京都立京浜島つばさ公園	大田区京浜島二丁目			B	
	東京都立京浜運河緑道公園	品川区東品川五丁目、八潮一・五丁目			B	
	東京都立大井ふ頭緑道公園	品川区八潮四・五丁目			B	
	東京都立東海緑道公園	大田区東海一～六丁目			B	
	東京都立京浜島緑道公園	大田区京浜島一丁目			B	
	東京都立城南島緑道公園	大田区城南島一・二丁目			B	
	東京都立芝浦南ふ頭公園	港区海岸三丁目			B	
東京都立海の森公園		江東区海の森三丁目 海の森三丁目地先	海の森公園パートナーズ	令和7年3月15日～令和12年3月31日（5年17日）	A	・草刈りが困難な傾斜地において、ヤギ3頭を活用することで、十分な除草を行うとともに、来園者から好評を獲得し公園のマスコットの存在としての効果も認められた。 ・坂の上広場の花壇に通路路とうみのもりすけのオブジェを設置し、フォトスポット花壇を整備した。また、西の小山及び東の小山について、除草や樹木剪定を実施し、東京港やゲートブリッジが一望できるよう眺望を確保した。 ・つどいの草原を中心に、虫捕り網と虫かごを使った生きもの採集イベント「いきものみつけ」や、園内にある木の実や小枝、葉っぱなどの自然素材を活用した工作イベント「うみのもりすけをつくろう」を開催し、海の森公園の豊かな自然や生きものの魅力を体感できる機会を提供した。

令和7年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者	指定期間	総合評価	主な評価内容
漁港施設					
二見漁港栈橋(1)外8施設	小笠原村 父島	小笠原島漁業 協同組合	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日 (5年間)	B	・台風接近前の利用者に対する養生・被害対処の呼びかけ、通過後の巡回、被害点検及び清掃を迅速に行うなど、施設内の安全確保に努めている。 ・利用者案内の作成、配布をはじめ、施設の適正利用についての周知が行われ、漁港機能との共存が図られている。
空港					
東京都八丈島空港	八丈町大賀 郷	八丈島空港ター ミナルビル株式 会社	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日 (5年間)	B	・A2-BCPガイドラインの改訂に合わせた訓練ができてい る。地方空港を想定した内容で訓練を実施できた。台風22 号の発災時には今までの自然災害訓練の経験を活かし、 A2-HQを設置し、各機関との情報共有を図りながら、災害 救援機の受入れ等もスムーズに行った。 ・事業計画に基づく各種利用者サービス及び利用促進事 業を着実に実施している。空港見学イベントやクリスマスナ イトツアー、「空の日」イベントなどを通じて空港への理解促 進及び親しみやすい空港づくりに取り組んだ。